

伊方発電所3号炉 高経年化技術評価に係るヒアリング コメント反映整理表<低サイクル疲労>

No	日付	資料名	該当ページ	コメント内容	コメント対応	回答日	完了日
1	2023年12月15日	補足説明資料	17	表6原子炉容器の供用期間中検査の内容について、ふた管台の至近の検査実績がない理由を注記等で説明すること。	第14回定期検査時(2017~2018年度)に原子炉容器上部ふたの取替を実施しているため、取替後のふた管台については至近の検査実績はなく、第17回定期事業者検査にて検査を計画している。 上記について、補足説明資料に記載する。	1月29日	
2	2023年12月15日	補足説明資料	20	代表機器以外の評価結果について、スイング弁として「蓄圧タンク出口注入ライン第1逆止弁弁箱」と抽出しているが、他のプラントにおいては、「蓄圧タンク出口注入ライン第2逆止弁弁箱」が抽出され、より厳しい値となっているケースもあるが、第1逆止弁弁箱を抽出した理由を説明すること。	1次冷却材管からの第1逆止弁であり、起動停止等における過渡を受けるため、当該弁の評価を実施している。	1月29日	
3	2023年12月15日	補足説明資料	18	代表機器以外の評価結果について、蒸気発生器の給水入口管台の環境疲労評価結果として、0.851と比較的高い値となっているが、その理由を説明すること。	蒸気発生器の給水入口管台の環境疲労評価では、低温給水時に発生が想定される熱成層を考慮しており、この熱成層応力の影響が大きいことから、疲労累積係数は比較的高い値となっている。(なお、推定過渡回数に十分な裕度(1.5倍)が考慮されている。)熱成層現象の想定等については、補足説明資料 別紙7-③のとおりである。	1月29日	
4	2023年12月15日	別冊	17	表2.3-3における、ふた管台の「検査部位」及び「検査内容」には、疲労評価対象部位である上蓋貫通部に係る記載が漏れているのではないかと確認の上、必要であれば追記すること。 【低サイクル疲労の補足説明資料P17の表6も同様】	ご指摘のとおりであるため、原子炉容器の供用期間中検査の内容について追記し、今後適切に補正をする。また、補足説明資料も反映する。	1月29日	
5	2023年12月15日	補足説明資料	別紙1-8	表中の α の意味を説明すること。	補足説明資料 別紙11に説明を追記する。	1月29日	
6	2023年12月15日	補足説明資料	11	表4(2/3)について、過渡回数特記事項に「-」が多いが、他プラントの同じ項目を見ると多くの項目が「2」に該当している。考え方に違いがあるのか、説明すること。	「4.1(1)(b)過渡条件の設定」で取替機器の回数は「未取替機器の1年間当たりの平均過渡回数」と記載しているとおおり、未取替機器の平均過渡回数を使用しているため、「特記事項2」には該当しないと考え、「-」としている。	1月29日	